

第2回会議での主な意見

3つのエリア活用パターン

- 白山エリア
 - ・市陸市体跡地に**球技専用スタジアム**を。
 - ・やすらぎ提とスポーツが一体となった使い方を。
- 鳥屋野潟北部エリア(現運動公園)
 - ・市陸の代替として**トレーニング特化型(医科学支援や合宿含む)施設**を。
- 鳥屋野潟南部エリア
 - ・ビッグスワンでラグビーや陸上の国際大会等を今以上に誘致できる。
 - ・**アリーナならば複合的な使用**を。(コンサートなど)

～公園や緑との親和・商業施設との連携～

様々なスポーツができる鳥屋野潟南部集約パターン

- スポーツ施設で大会以外の日常は、**公園や緑**が思い浮かぶ。
- 施設に併設する飲食店などは通常営業し、イベント時に連携する発想で。
- スポーツ後に食事や映画、**日がな一日居れる**エリアを。
- 好きなときに運動をした後に飲食して、コミュニティが成立する、日常的に**スポーツクラブライフ**ができることは大事。
- 子どもたちが外で遊べないときでも利用できる施設を。
- **防災拠点**としては最適地だ。

■ 追加議論が必要となる意見

- ◎ 10年後に着工するのか50年後の夢を語るのかで発言が変わる。
- ◎ スポーツの世界は変化が激しく、何年後のイメージは必要。
- ◎ 近隣他都市の施設・魅力の分析が必要では。

■ その他意見

- ・新たな施設を考えるにあたっては**収益性**を意識するべき。
- ・地域性を考慮しつつ日本一ではなく**日本初**の施設を目指す。
- ・未来に向けて、これから流行るだろうスポーツの意識も重要。